

ジャックビーンからのコンカナバリンA

Cat. No. CONA-0100

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 コンカナバリンA (ConA) は、ジャックビーン (*Canavalia ensiformis*) から最初に抽出されたレクチン (糖結合タンパク質) です。これは、マメ科レクチンファミリーの一員です。ConAは、主に内部および非還元末端の α -D-マンノシルおよび α -D-グルコシル基を含む、さまざまな糖、糖タンパク質、糖脂質に見られる特定の構造に特異的に結合します。ConAは植物性ミトゲンであり、マウスT細胞サブセットを刺激する能力が知られており、抑制性T細胞の前駆体を含む4つの機能的に異なるT細胞集団を生じさせます。また、ヒトの抑制性T細胞の一部もConAに敏感です。ConAは商業ベースで利用可能な最初のレクチンであり、さまざまな細胞の表面にある糖を含むエンティティを特性評価するために生物学や生化学で広く使用されています。また、レクチン親和性クロマトグラフィーで糖鎖化された高分子を精製するためや、さまざまな免疫細胞による免疫調節を研究するためにも使用されます。

別名 Con A

製品情報

由来 ジャックビーン

形態 凍結乾燥粉末

CAS登録番号 11028-71-0

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで

安定性 凍結乾燥粉末は、-20°C以下で保存した場合、製造日から3年以上安定しています。脱イオン水で再構成した後、溶液は作業用アリコットで最大12ヶ月間冷凍保存できます。